白樺

７月１１日（金）　第１４号
発行責任者
泉崎中学校長　角田敏文

当たり前のことを当たり前に。それがすばらしい人生の第一歩。

当たり前の話をすると、「そんなこと分かっている」「知っている」「当たり前のことだ」と、うんざりした顔で聞き流す人がいます。でも、どれだけの人が、当たり前のことを当たり前に実践できているでしょうか。「じゃあ、あなたは、その当たり前のことをやれているか？」と、あらためて聞くと、やれていないことが圧倒的に多いのです。勉強（部活）でも、「こうしたら良い」と分かっているのに「まあ、いいか」と言って、行動に移さないことはよくあります。「こうすれば良い」と分かっているのだったら、さっさとやればいいのに・・・。多少厳しく書きましたが、**良いと分かっていることがきちんと実践できたならば、大抵のことはうまくいきます。**

ところが、良いことだと分かっていても体が動かない。頭で理解していても行動に移せないのです。**行動しなければ結果は生まれません。行動だけが結果を生むのです。**きちんと行動しやり続けることができれば、その人は必ず成功できるでしょう。

当たり前のことを当たり前にやるということは平凡なことですが、**それをやり続けるには人間的・精神的な強さが必要です。また、それを裏打ちする肉体的な強さ**も必要でしょう。

人は頭ではなかなか動きません。**人を動かすのは感情です。ただ、人を堕落させるのも感情なのです。ただ人間は感情だけで生きているのではありません。理性も持っています。**感情という猛獣と対決し、いかに自分をコントロールするか。やるべきことをきちんとやろうと自分を律することができるか。それができればその人は最強です。

どうか、当たり前のことを受け流さず、実行に移す努力をしてほしいです。**当たり前のことを一つ一つ実行してこそ、輝かしい素晴らしい人生が切り開けるのです。**

夏休み前にもう一度考えてほしいです。当たり前のことを当たり前にすることが一番大切だと言うことを。

三者相談を終えて

三者相談に出向いていただきまして誠にありがとうございました。高校受験を目の前にして（３年）、入学して３か月（１年）のこの時期に、中学生活の折り返し（２年）、三者の考え方をつき合わせておく大変有意義な相談になったことと思います。今回の三者相談を通じて多くの家庭では、学校生活の様子や進路等について話題にしているということが分かり安心しました。

ところで子どもというのは、目先の希望しか考えていないのがほとんどです。大切なのは「目先の進路は、その次のための準備期間でもある」ということです。もちろん中学生ですから、まだ、次のことまでは考えていないと思います。しかしその時でも、進んでいおいた方がよいという道もあるものです。そこに気づかせてあげるのが、保護者の方や、我々教師だと思います。

将来どのような方向に進みたいのか漠然としていて、どうすればよいのかと考え悩む時期ですが、将来の選択の幅を広くとっておくためにも、とりあえず今は、しっかりと勉強すること（学力を高めること）が重要です。

週の行事予定

14	15	16	17	18	19	22
月	火	水	木	金	土	火
三者相談⑤ 幼児ふれあい学習（２年）	３年学習会（英語②）	自由参観（３・４校時） PTA情報モラル教室 NO部活動デー	**1・2年実力テスト** 重点清掃・ワックスがけ	第一学期終業式 職員会議・NO部活動デー	**夏季休業日 ～8月24日（日）**	**県中体連総合大会 ～7月24日（木）**

『ひっぱたいてでも歯磨きの習慣をつけさせてほしかった』と入れ歯になった今、そう思う。

歯・目・耳・内科の治療は済みましたか？**予防→早期発見→治療**が大切です。夏休みを有効に使い、治療を行ってください。

教育目標

◎自ら学びとる生徒
◎思いやりがあり、共に成長しようとする生徒
◎健康で積極的な生徒

子どもたちが夢を語り合う学校

このQRからホームページがスマートフォンでご覧いただけます。